

双鷺洲



佐木島で

平成 21 年 3 月 2 日 元気さぎしま協議会だより（仮称）

国の補助金を活用した活性化事業を始めます



夢ぷらざでの様子(H20.11.28)

広島の本通は1日約 10 万人が歩き、その中の 6 千人が夢ぷらざを訪れるそうです。

これまでの経緯

平成二〇年度から、鷺浦町内会と三原市がいつしよになって、佐木島の活性化に向けた取り組みを行っています。

例えば、昨年十月に「さぎしま物産部会」を立上げ、十一月末には広島市の本通にある「ひろしま夢ぷらざ」へ出展し、佐木島の特産品（みかん、わけぎ、レモン、キウイ、みかんもち、マーメイド、里芋）の販売を通して、島のPRを行いました。

また、島の生活や、さまざまな取組（トライアスロン、花畑作り、特産品加工など）における課題についても話し合ってきたが、島全体で活性化に取り組んでいくためには、住民の手で考えた地域のための計画が必要ではないかと考えました。

佐木島が農水省の補助事業の対象に

そうした話し合いの最中、農林水産省の補助事業である「農山漁村（ふるさと）地域力発掘支援モデル事業」の募集があることがわかり、鷺浦町内会と三原市で設立予定の団体「元気さぎしま協議会」の名前で、平成二十一年一月二日に応募した結果、見事採択となる旨の連絡がありました。

「農山漁村地域力発掘支援モデル事業」とは
目的
地域資源を活かし、持続可能で活力ある農山漁村を実現すること

事業の期間
平成二十一年四月以降の四年間

概要

地域住民の手で「ふるさとづくり計画」を策定し、計画を基に行う活動に対して補助金が交付されます。

補助金額

- ・ふるさとづくり計画に要する費用
平成二十一年度のみ 上限 百万円
- ・計画に基づく活動に要する費用
各年度（四年間） 上限 二百万円

この補助金は、建物を建てたり、飲食に関する費用には使えません。また、国の厳しい審査を経て許された経費にしか充当できません。

（26日、第2回夢ぷらざ販売は完売でした）

元気さぎしま協議会の設立

今後「農山漁村（ふるさと）地域力発掘支援モデル事業」の推進組織である「元気さぎしま協議会」を正式に立ち上げ、三月末までに国への本申請を済ませる必要があります。

元気さぎしま協議会 設立総会

と き 3月14日（土）
14時～16時
ところ 鷺浦コミュニティセンター
内 容 ・規約等の制定
・役員選出
・農水省の講演会

町内会の方はどなたでも参加できますので、ふるってご出席ください。



四月以降の取り組みについて

まずは「ふるさとづくり計画」をつくるための町民の会合（講演会、複数回の会合、他地域への視察など）を開催します。

日程が決まり次第、皆さんにご案内しますので、多くの方のご参加をお願いします。

「ふるさとづくり計画」が出来ましたら、国への手続きを踏んだ後、佐木島を活性化するための活動を実施することとなります。

「ふるさとづくり計画」の内容や具体的な活動の実施については、今後とも皆さんに十分情報提供していきます。

この取り組みが島民挙げての活動となり、少しでも佐木島の活性化が図られるよう、皆さんのご協力をよろしく願います。

